

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社島精機製作所

2020年10月

2021年3月期第2四半期決算概要

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2020年3月期
売上高	10,126	17,118	33,206
営業利益	△4,183	△2,710	△5,602
経常利益	△3,135	△2,899	△5,583
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△3,208	△2,061	△8,427

為替レート(円)	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	
ドル・円	105.80	107.92	期末為替レート(上段)
	106.96	108.78	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	124.17	118.02	
	120.98	120.87	

ハイライト

事業概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、世界各地で工場の操業停止や営業活動の中断を余儀なくされ、販売が低調となりました。

【横編機】

世界各地の何れにおいても伸び悩み売上高の回復には繋がりませんでした。

【デザインシステム】

- ・アパレルデザインシステムの「SDS-ONE APEX4」は、コンピュータ横編機の販売不振に連動して売上高は減少しました。
- ・自動裁断機「P-CAM」についても、国内・海外市場ともにテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調となりました。

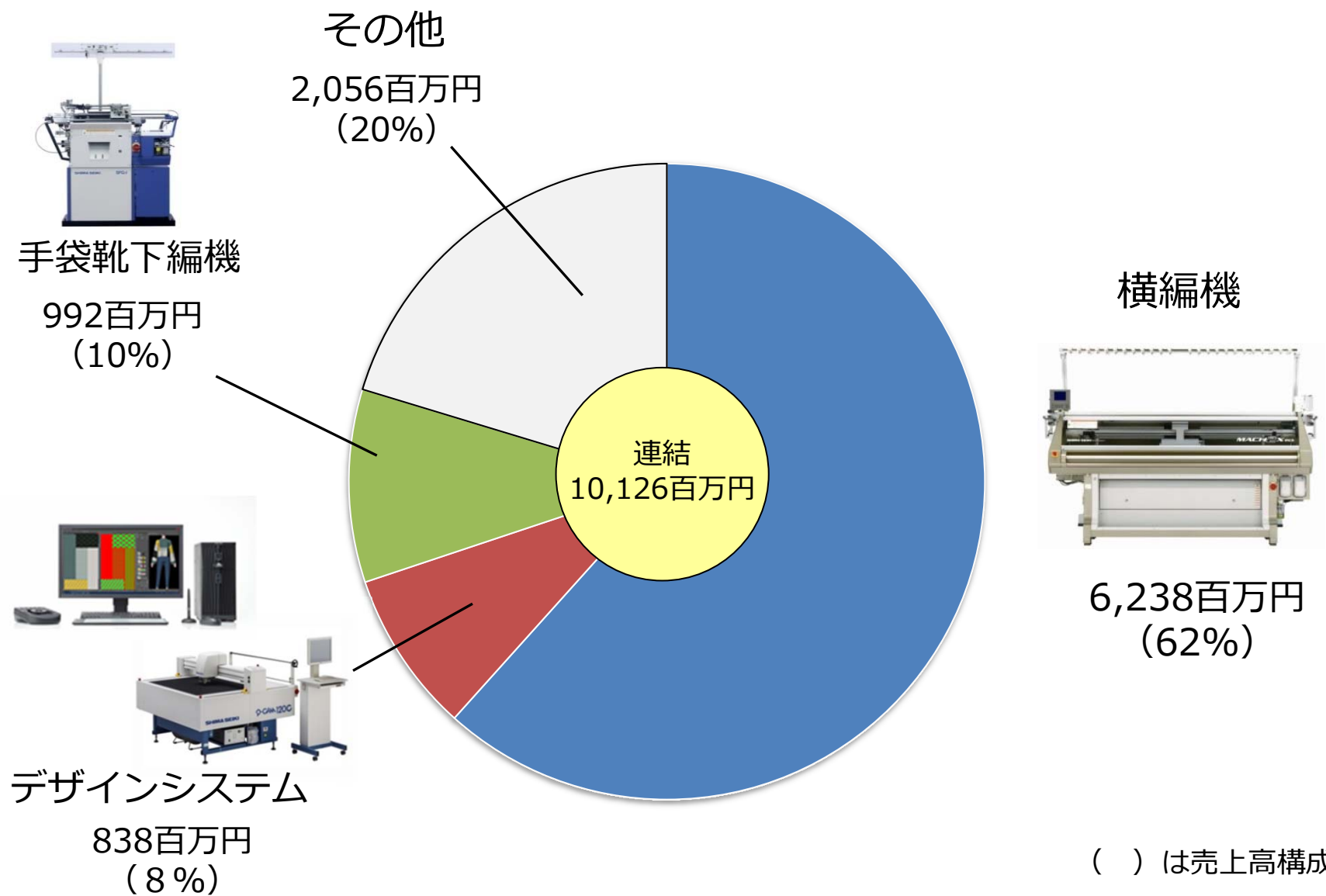
【手袋編機】

- ・コロナ禍の中でも大手ユーザーの設備投資が実行されました。

利益面

- ・売上高の大幅な減少に加えて、販売単価の下落や生産調整に伴い売上総利益率が悪化（前年同期比△11.5ポイントの25.2%）となりました。
- ・販売費及び一般管理費において、人件費抑制等に取り組んだものの（前年同期比約△22億円）営業利益の減少を補えませんでした。

事業セグメント別売上高〔連結〕（第2四半期）



事業セグメント（横編機事業）

製品別カテゴリー



ホールガーメント横編機

- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「MACH2XS」「SWG-N2」
- ・環境に配慮したモノづくりを実現
- ・ファッション小物・マスク製作等、ミニタイプも充実

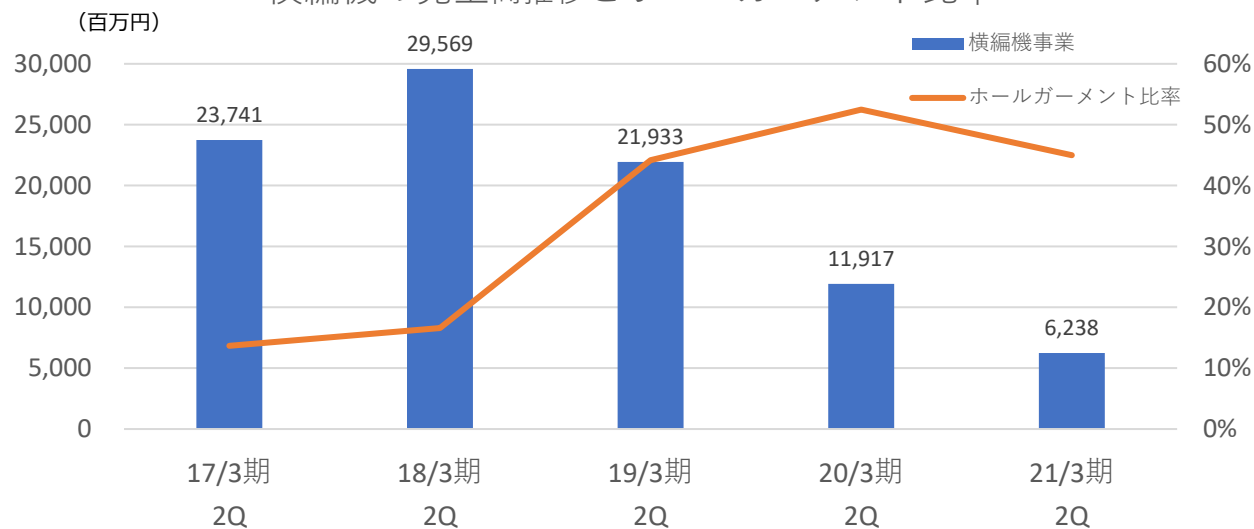


コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンク作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SRY」「N.SIR」「N.SVR SP」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SVR」「N.SSR」

ホールガーメント売上高比率が40%以上に

横編機の売上高推移とホールガーメント比率



事業セグメント（デザインシステム事業）

製品別カテゴリー



3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」

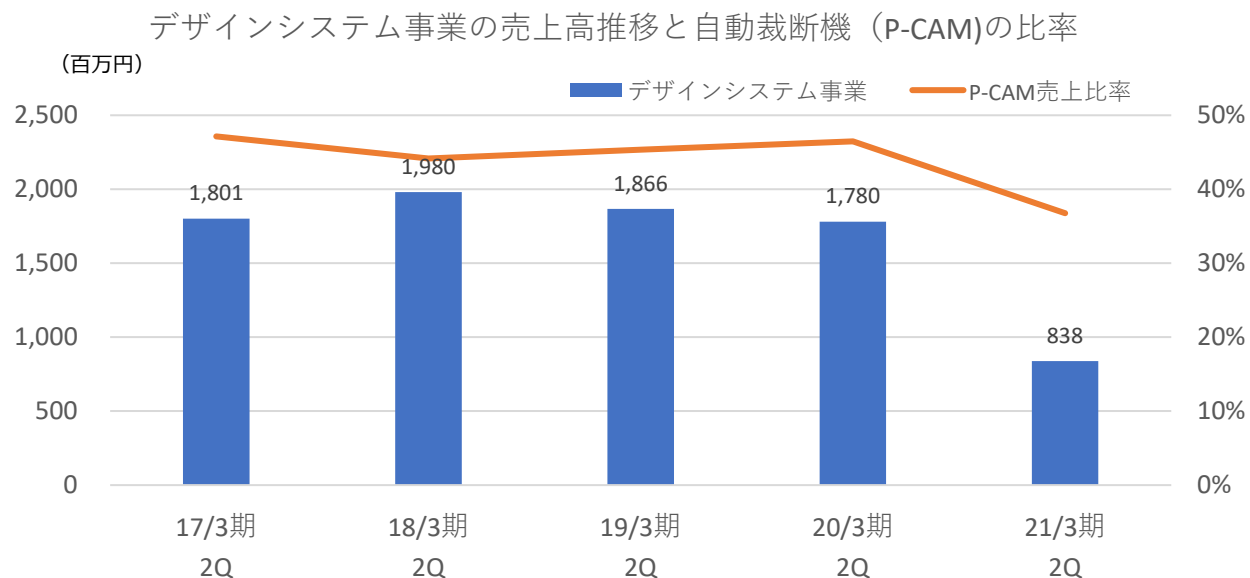
- ・編み機のプログラミング、パターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェアを搭載



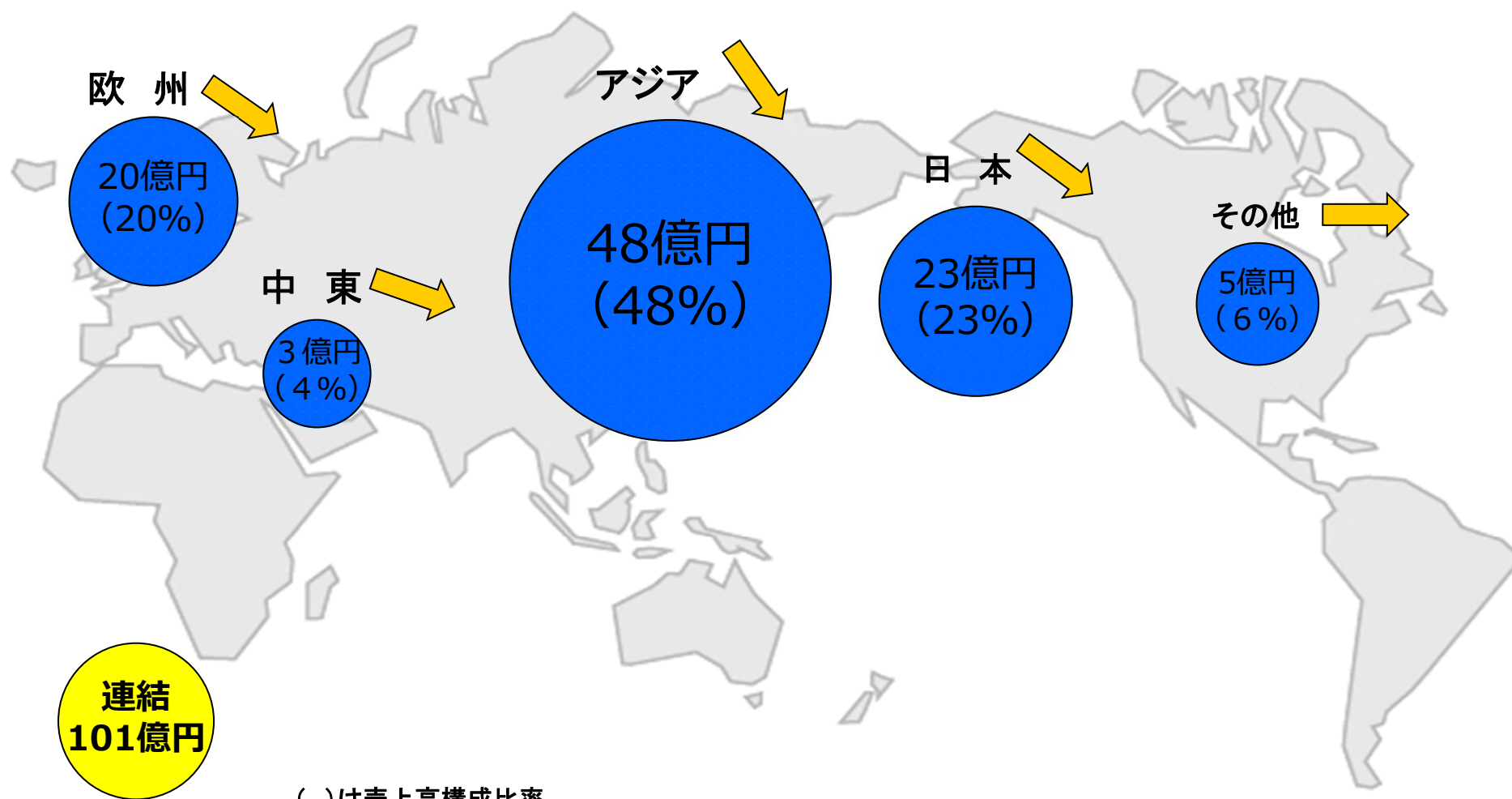
自動裁断機「P-CAM」

- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供。「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図っている

当期はP-CAMの売上高比率は低下



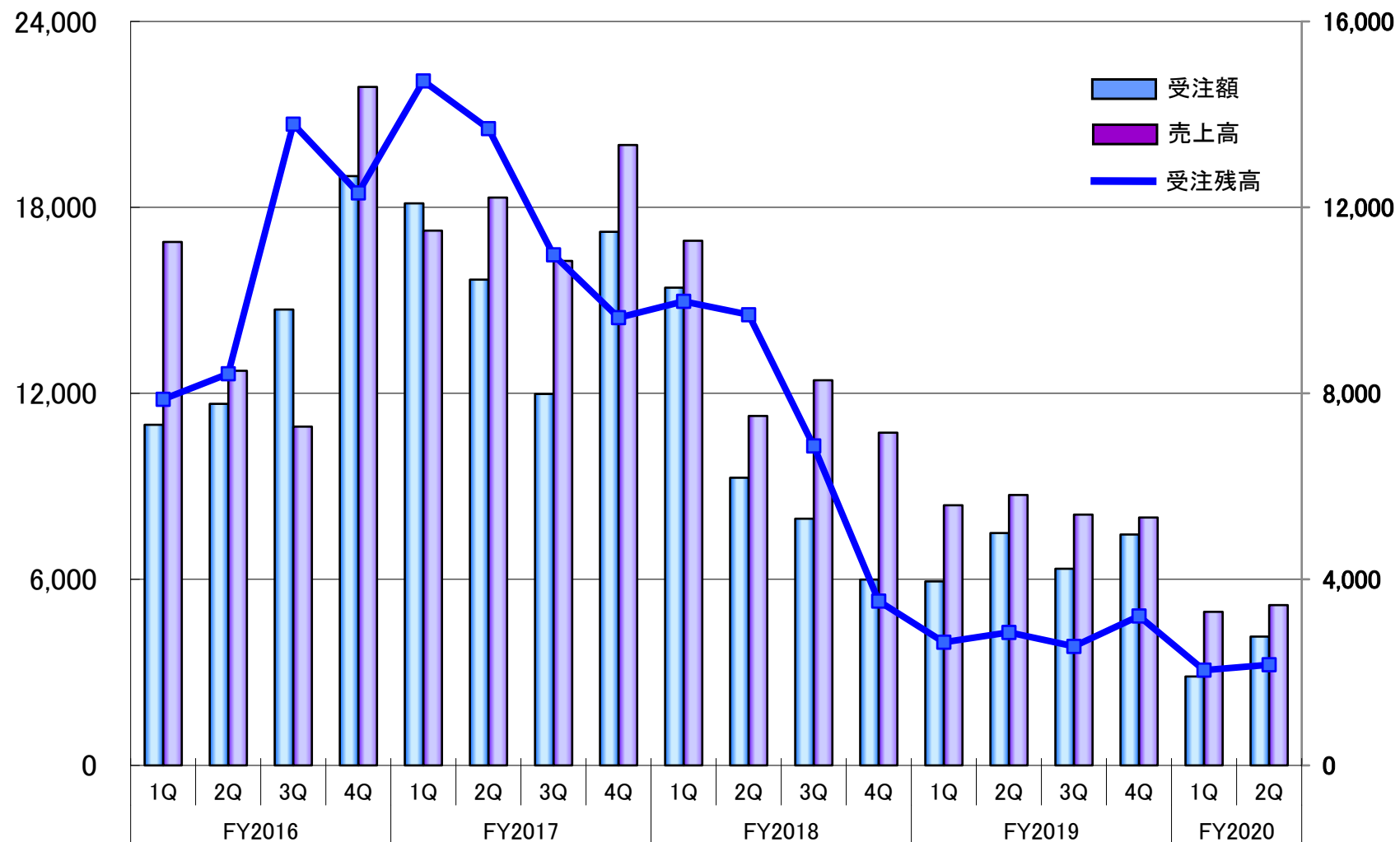
地域別売上高構成〔連結〕（第2四半期）



受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2019/3				2020/3				2021/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	16,923	11,273	12,423	10,732	8,393	8,724	8,089	7,998	4,954	5,171
営業利益	3,307	1,036	1,257	△962	△872	△1,838	△1,145	△1,746	△1,970	△2,213
経常利益	3,670	957	1,215	△852	△944	△1,954	△963	△1,721	△1,414	△1,721
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,571	740	849	△327	△689	△1,372	△852	△5,513	△1,463	△1,745

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	15,412	9,280	7,958	5,994	5,934	7,495	6,345	7,447	2,868	4,153
受注残高	9,979	9,691	6,869	3,531	2,647	2,858	2,558	3,211	2,048	2,163

貸借対照表〔連結〕（第2四半期末）

現金及び預金 第2四半期末21,084百万円（前期末21,641百万円）で、前期末より556万円減少
 売掛債権 第2四半期末46,666百万円（前期末51,248百万円）で、前期末より4,582百万円減少
 たな卸資産 第2四半期末18,118百万円（前期末18,410百万円）で、前期末より291百万円減少
 自己資本比率 84.9%（前期末82.6%）

（百万円）	2021年3月期 （第2四半期末）	2020年3月期 （期末）	増減
流動資産	83,551	89,470	△5,918
固定資産	37,682	41,224	△3,542
（有形固定資産）	26,273	26,964	△690
（無形固定資産）	2,629	2,931	△302
（投資その他の資産）	8,779	11,328	△2,549
資産合計	121,234	130,695	△9,461
流動負債	12,362	17,292	△4,930
固定負債	5,900	5,452	448
負債合計	18,263	22,744	△4,481
株主資本	112,037	115,761	△3,723
その他の包括利益累計額	△9,104	△7,849	△1,254
新株予約権	23	25	△1
非支配株主持分	13	14	△0
純資産合計	102,970	107,950	△4,979
負債及び純資産合計	121,234	130,695	△9,461

（百万円未満切り捨て表示）

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

営業活動によるキャッシュ・フロー 売掛債権の減少などにより、5億46百万円の資金の増加
 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資有価証券の売却などの収入などにより20億29百万円の資金の増加
 財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金の返済、配当金の支払いにより31億30百万円の資金の減少
 現金及び現金同等物の期末残高 前年同期に比べ44億44百万円減少しました。

(百万円)

項 目	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	1,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,029	△1,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,130	△1,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△381
現金及び現金同等物の増加額(△減少)	△587	△1,408
現金及び現金同等物の期首残高	21,582	26,849
現金及び現金同等物の期末残高	20,995	25,440

(百万円未満切り捨て表示)

2021年3月期業績計画〔連結〕当社の取組み

人件費など固定費削減に努める

12月末まで一時休業日を設ける

取締役報酬、執行役員報酬の減額を継続（2019年7月31日公表）

代表取締役は役員報酬月額の30%、役付取締役は同20%、取締役は同15%を減額、
監査等委員である取締役は報酬月額の10%を自主返上

賞与の減額

設備投資は将来に向けた自動化への投資は実行、
不要不急の投資は次年度以降とする

社員研修を積極的に実施、人材育成を図る

2021年3月期業績計画〔連結〕営業活動

営業・サービス活動

中国など通常活動エリアは増えているがまだ模様

展示会は中止・延期に

ITMA ASIA+CITME2020 2021年6月に延期

オンライン展示会への参加

SAMPE Japan 先端材料技術展2020

ウェビナーの開催

情報発信の強化

メルマガ

SNS (Facebook, インスタグラム)



2021年3月期業績計画〔連結〕

	(百万円)		(百万円)
	2021年3月期	前年比(%)	2020年3月期
売上高	25,000	△24.7	33,206
営業利益	△8,500	—	△5,602
経常利益	△7,000	—	△5,583
親会社株主に 帰属する当期純利益	△7,200	—	△8,427

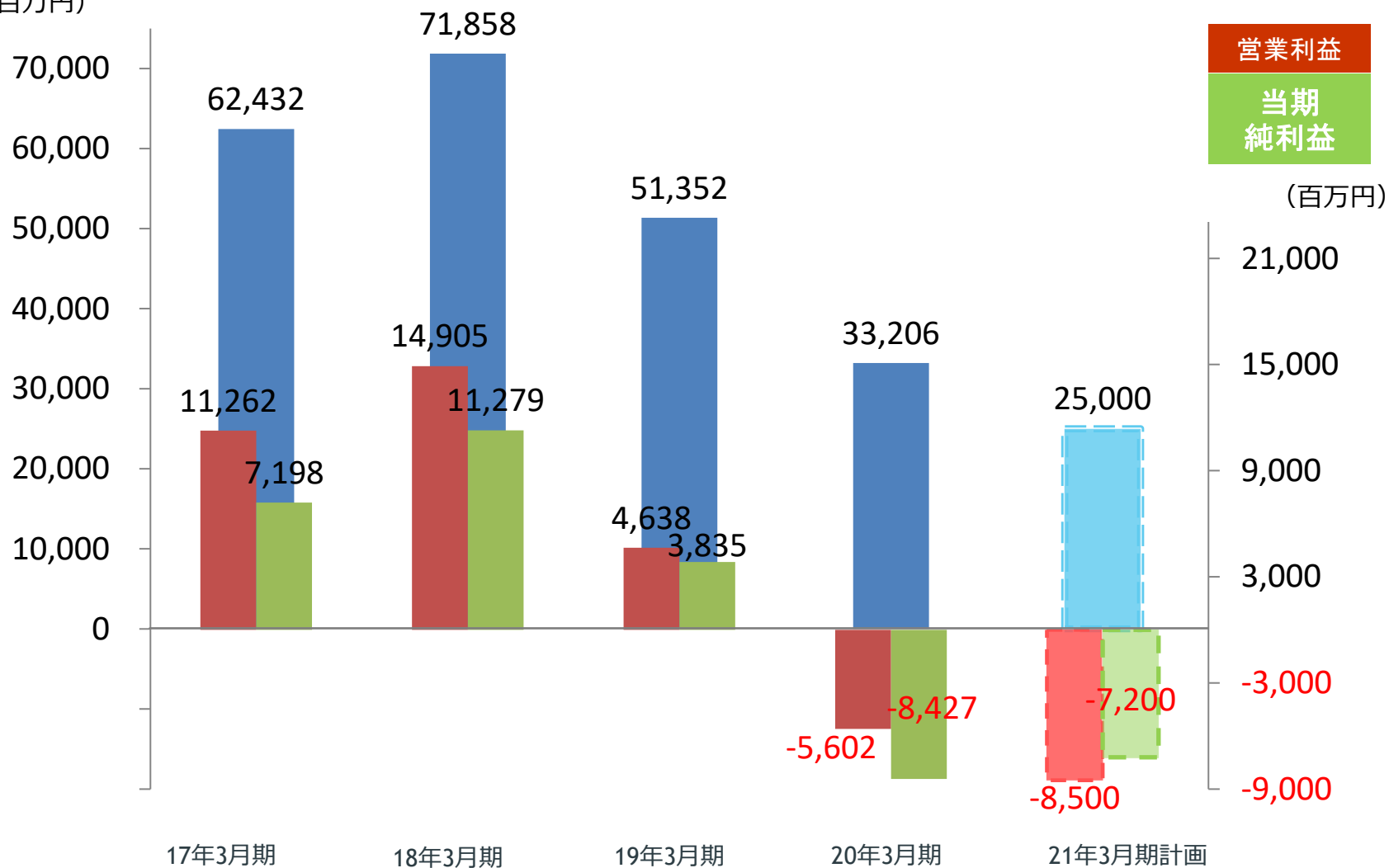
通期計画の前提 為替レート 105円/ドル 120円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル12百万円 ユーロ2百万円

売上高・利益の5か年推移〔連結〕

売上高

(百万円)

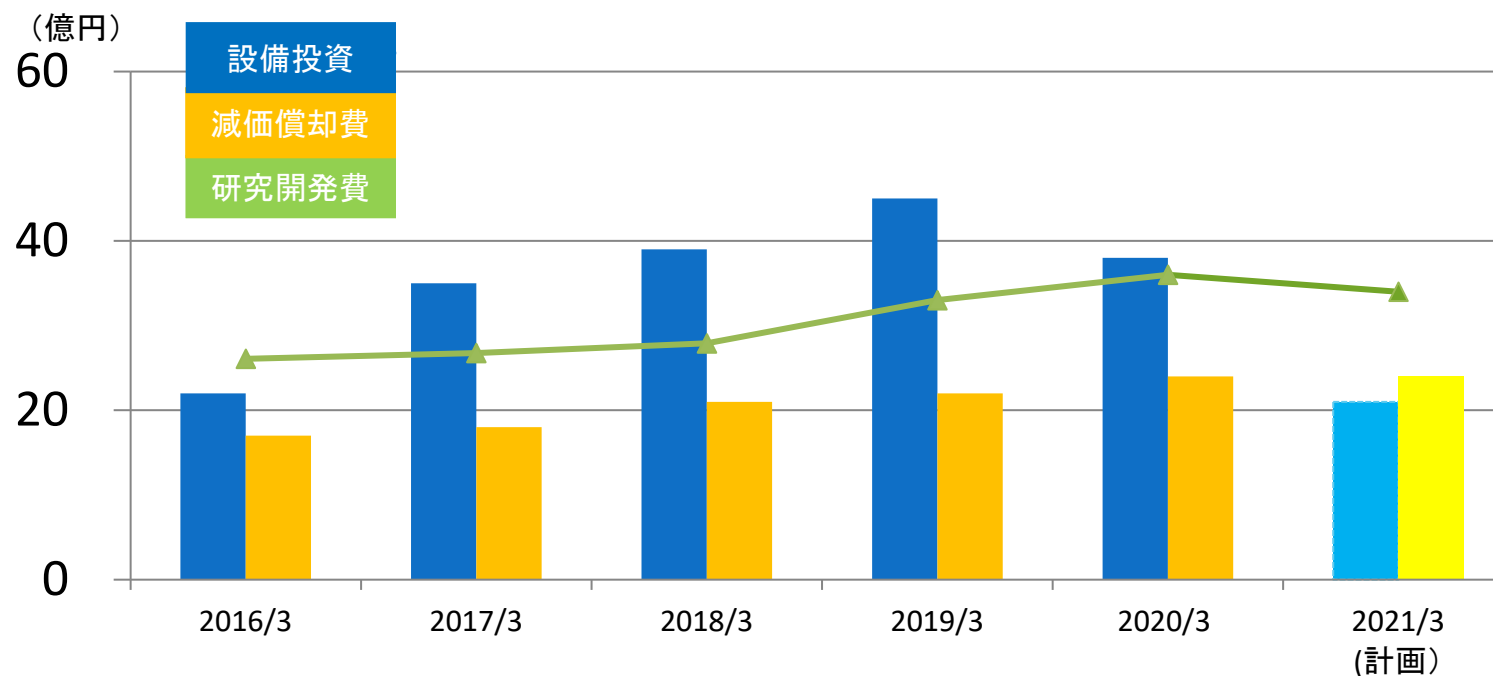


研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

開発スピードはゆるめずに

21年3月期第2四半期（実績） 設備投資3億円（リース資産1億円含む）
減価償却費12億円、研究開発費16億円

21年3月期（計画） 設備投資21億円（リース資産9億円含む）
減価償却費24億円、研究開発費34億円



2021年3月期 設備投資実績

本社工場に新工場棟を建設

第2期工事（2020年10月竣工）

ホールゲームト横編機の生産能力増強、自動化を推進

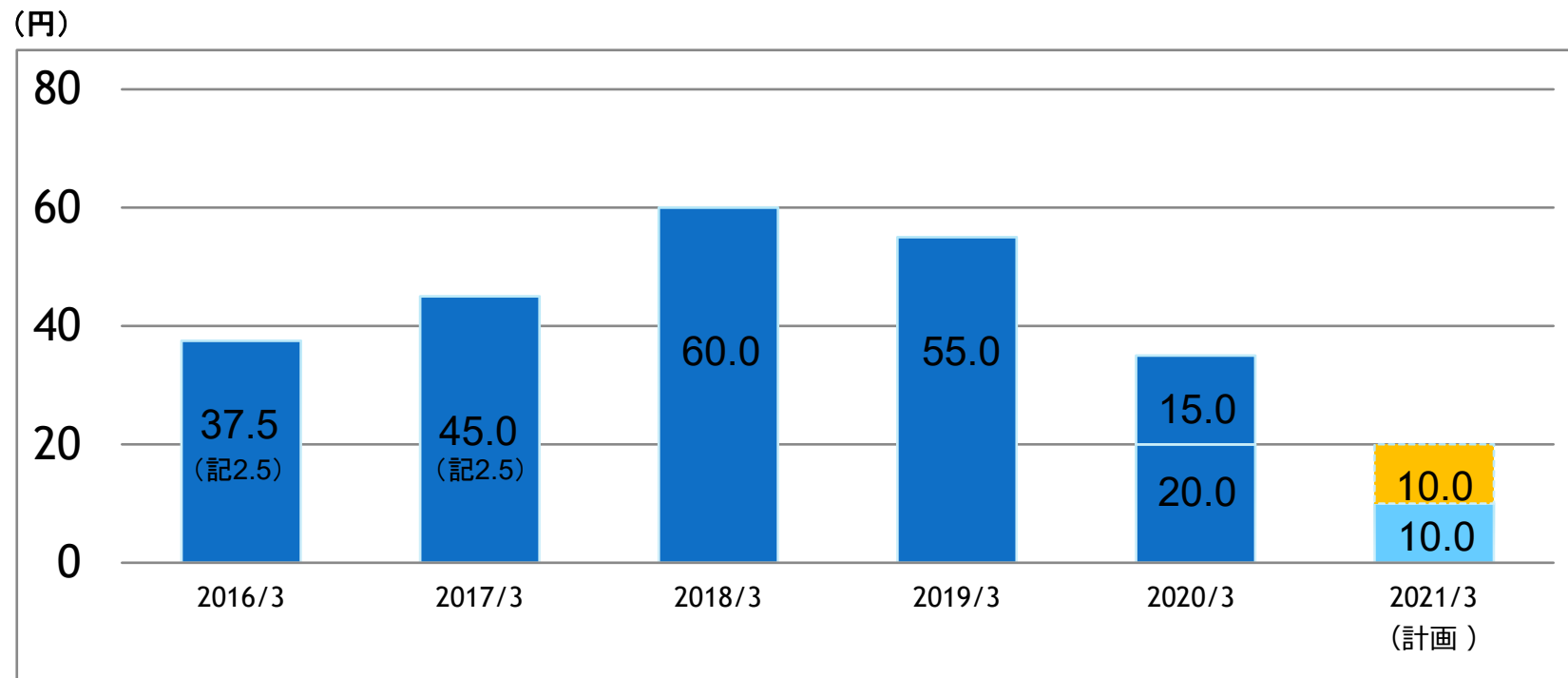


株主還元

2021年3月期(計画)

中間配当金10円

期末配当10円(予定)



アパレル業界の状況

(コロナ前)

- ・ 米中貿易摩擦による生産地シフト（ASEAN等へ）
- ・ サステナビリティ対応による生産・在庫数の意識が変化

(コロナ禍)

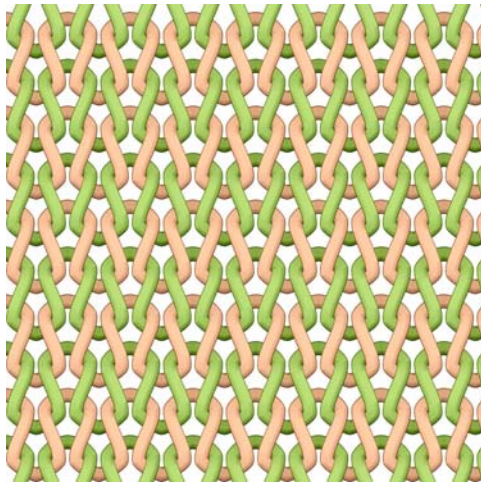
- ・ サプライチェーンの分断
- ・ 一部アパレルで実店舗削減、ブランド削減の動き
- ・ Eコマースによる販売拡大

(これから)

- ・ 世界規模での生産革命が始まる
 サプライチェーン全体のデジタル化、
 DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展

横編みニット製品の特長

ニット生地 (丸・横編み)



<メリット>

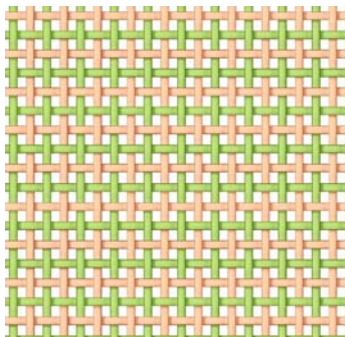
- ・型どおりに編むことができ、裁断工程不要
- ・ホールガーメント横編機は一着丸ごと編み上げる
- ・生地に様々なデザインを加えることができる

<デメリット>

生地の生産性は他の丸編、経編機と比べ低い



(参考) 織物 (テキスタイル)



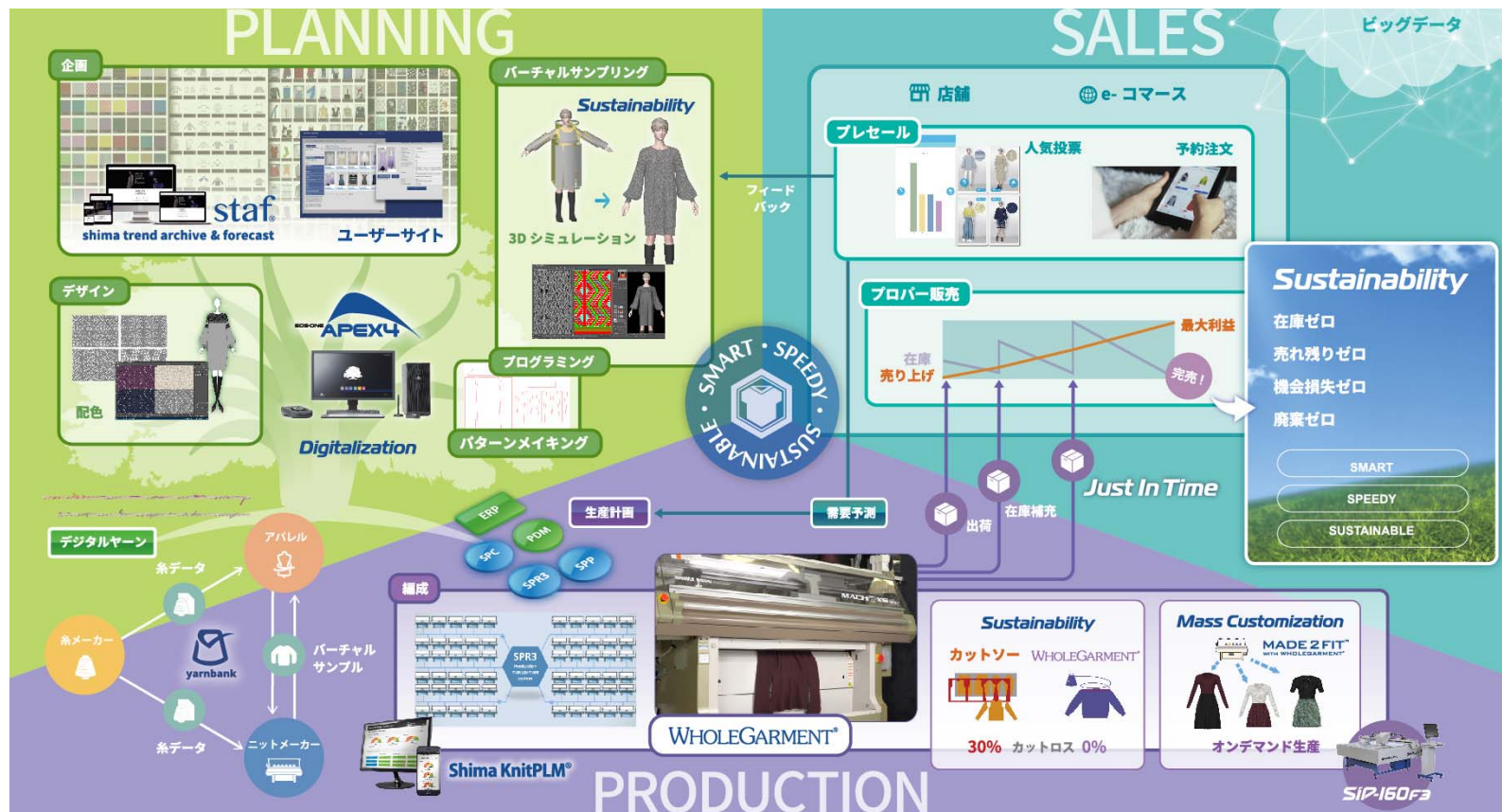
消費の個性化に適した繊維製品

デジタル化と相性がよい横編みニット

トータルファッションシステム

当社が提唱する「トータルファッションシステム」は、

デジタル化、マスカスタマイゼーション、サステナビリティを実現
 3Dデザインシステムを核に、企画・生産・販売の全ての工程がそれぞれ相互に情報を取り交わし
 密接に関わりスピーディーでスマートな環境に優しいモノづくりが可能



デジタル化とサステイナビリティ

アパレル業界のモノづくりの流れとその課題

商品企画

生産

販売

①リードタイムの短縮(大量生産・消費モデルからの脱却)

②Eコマース・オムニチャネル

③個性化の時代への対応(カスタマイゼーション)

④サステイナブルなサプライチェーンへの対応(環境負荷低減・廃棄ロスの削減)

シマセイキからのソリューション提案「デジタル化とサステイナビリティ」

- ・ ホールガーメント、デザインシステムの活用による過剰生産や在庫量の抑制
- ・ 個性化の時代(カスタマイゼーション・オーダーメイド)への対応(WHOLEGARMENT)
- ・ バーチャルサンプルのEコマースへの応用、需要予測に活用(SDS-ONE APEX4)
- ・ デザインシステムにAIを導入し、デザイン制作をサポート(SDS-ONE APEX4)
- ・ PLM(プロダクトライフサイクルマネジメント)で生産最適化を実現(Shima KnitPLM)

MADE 2 FIT™
WITH WHOLEGARMENT®

Shima KnitPLM®



WHOLEGARMENT®

新サービス



デジタルヤーンソーシングウェブサイト



アパレルデザインソフトウェア



SHIMANAVI™

eラーニングシステム

イノベーションファクトリー

株式会社ファーストリテイリング との合併事業を発展させ新たなステージへ移行

- ・ 株式会社イノベーションファクトリーの東京への移転および規模拡大
- ・ 出資比率の変更
株式会社ファーストリテイリング 51% (現状49%)
株式会社島精機製作所 49% (現状51%)
- ・ 変更時期 2020年12月 (予定)
- ・ 稼働開始 2021年春(予定)



UNIQLO TOKYO “LifeWear SQUARE”にて 期間限定展示 (9/21~10/11)
(提供：株式会社ファーストリテイリング)

ホールガーメントのメリット

ホールガーメント製品の特長



肩
立体的に編成することで、肩のラインが体にフィットし、自然な着心地が得られます。



身頃
前身頃と後身頃をつなぐ縫い目が無く、シルエットがすっきりとします。また、複数の接ぎから成る型紙と、ダーツなどを編みこむことによる立体成型で、綺麗に流れるドレープが表現できます。



ネックライン
編み込まれたネックラインや衿元により、上品で洗練された製品に仕上がります。



脇
脇には縫い目がなく、従来のニットウェアのごわつき感が解消されます。

ホールガーメントタグ

店頭では、商品につけられているタグを目印に、あなたのホールガーメントをお探しください。

*ブランドや商品によりタグが異なる場合があります。



世の中のニット化～ *KNITify the World™* Smart Solutions in Textiles ～

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」は大量生産型のモノづくりからの脱却、個性化の時代に対応します。

横編み技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野にひろげ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



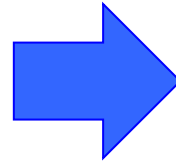
インレイ（横糸挿入）編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙

(参考) 事業セグメント別売上高・営業利益 (第2四半期)

(百万円)	売上高	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 (%)
横編機	6,238	△47.7	△1,004	—
デザインシステム	838	△52.9	△19	—
手袋編機	992	145.2	△165	—
その他	2,056	△31.8	△17	—
消去			△2,976	
合計	10,126	△40.8	△4,183	—

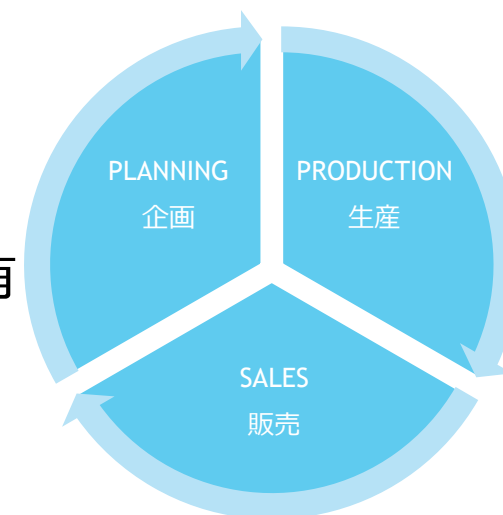
(参考) 地域別売上高〔連結〕 (第2四半期)

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)
日 本	2,339	3,715	△37.0
欧 州	2,035	3,232	△37.0
ア ジ ア	4,817	9,121	△47.2
中 東	363	464	△21.7
その他(海外)	570	584	△2.4
合 計	10,126	17,118	△40.8

(補足) トータルファッションシステム

<当社の優位性>

ソフトウェア（デザインシステム）と
ハードウェア（横編機、裁断機、手袋編機）を保有
サプライチェーン全体にアクセスが可能



3Dデザイン→プログラム→生産（編み立て）→販売→追加生産
一気通貫のモノづくりが実現できるトータルファッションシステム

バーチャルサンプリング、ホールガーメント横編機の組み合わせで
リードタイムを短縮、在庫・廃棄ロス削減につなげコスト低減

ソリューション開発を強化、サプライチェーン改革を目指す

(補足) 新サービス

1. 『yarnbank』 (デジタルヤーンソーシングウェブサイト) サービス開始 : 2020年 9月

yarnbankは世界の糸情報を検索できる、世界初のウェブサービスです。糸メーカーが参画し、各社の最新の糸情報や糸のデジタルデータを提供します。

yarnbankを通じて簡単に糸データを取得できるようになります。アパレルやニットメーカーなどがバーチャルサンプルを作成する際に、架空の糸ではなく、実際に購入可能な糸を用いたシミュレーションがおこなえることで、生産に即したリアルなバーチャルサンプリングが容易に実現できることとなります。

糸メーカーにとっても、当サイトは新たな販売促進の手法となる上、いままで現物の見本帳作成に要していた原料や時間、コストなどを削減することができ、サステナビリティにも貢献します。

さらに糸メーカー、アパレル、ニットメーカーなど、サプライチェーン全体がyarnbankを介してデジタルで繋がることできるようになり、川上から川下までのデジタルトランスフォーメーション (DX) が実現します。

2. 『APEXFiz』 (アパレルデザインソフトウェア) サービス開始 : 2020年度中を予定

『APEXFiz』は、従来の「SDS-ONE APEX」シリーズの強みはそのままに、多様化する勤務形態にフィットするソフトウェアのサブスクリプションサービスです。APEXFizは従来の「SDS-ONE APEX」シリーズと同様、企画・デザインから配色検討、リアルなファブリックシミュレーション、そして製品の3Dバーチャルサンプリングまで作成可能です。「SDS-ONE APEX」シリーズのバーチャルサンプルは単なるイメージではなく、企画側と生産側をデジタルでつなぎ、両者のコミュニケーションを円滑にするものです。作成したデータはニットメーカーに転送することで、生産プログラムに変換することができ、リードタイムを削減しつつ、より正確なモノづくりを実現できます。

3. 『SHIMANAVI』 (eラーニングシステム) サービス開始 : 2020年 11月 (予定)

SHIMANAVIは「SDS-ONE APEX」シリーズ用のeラーニングシステムです。お客様のご都合の良いタイミング、ペースで講習が受講でき、テレワーク/在宅勤務などの新しい勤務形態にマッチします。さらに多言語対応し、お客様のニーズに合わせた様々なコースをご用意しております。



SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。